

「高取町総合計画」

基本構想 ～「目的とスローガン」「政策課題」～

【スローガン】

” 健幸のまち ”
心やすらぐふるさと 高取

【目的】

すべての住民が心身ともに健康で、心やすらぐふるさと高取に住むことを誇りとし、幸せを感じるまちづくりを進める。

【現状の問題点】

住民は町内でのくらしや人々のつながりに対して「活気ない」「魅力のない」もの、あるいは「わずらわしい」ものと感じはじめ、本町がもっていた共に生きていくという良さが徐々に失われてきている傾向。

大都市との交通が至便であることから、
①就業場所など生活のよりどころをしだいに町外へ求める。
②比較的早く都市的生活を受け入れ、より便利性の高い暮らしを求めてきている。

上記により、見かけ上の生活の質は向上したものの、「高取町でのくらしや社会的な目標の喪失」「先行きの不透明さ、あるいは将来の繁栄の不確実さ」をもたらし、人々のくらしと生きがいに根本的な不安をもたらしつつある。

まちづくりの理念

自然を大切にすまち

平和でやすらいだ精神生活とくらしをもたらしてくれる豊かな支援を守り、あるいは活用し、自然に親しめる空間づくりや周囲の自然環境と調和した魅力ある環境づくりをめざします。

自然の恵みを活かすまち

自然と良好な関係を保ち、活力のある産業を営み、それにより健康な体を保持する新鮮な農林産物などを供給し、また、健康を保持するための様々な機会が用意されたまちをめざします。

いきいきとしたまち

豊かな自然、歴史的環境の中で、安定した経済基盤が確立し、町の個性をつくりあげる、生活に根付いた特色のある文化が育まれ、心身ともに健康な活動が営まれるまちをめざします。

やすらぎのあるまち

自然を背景とした、人にやさしい環境や独自の歴史・文化を活かし、お互いに助け合う良好な人間関係を維持しながら、だれもが安心して暮らすことのできるまちをめざします。

健康を発信するまち

健康に関する豊かな情報と空間を有し、配置薬販売という伝統的な手法で培われた、全国各地へとつながる人間的な情報網を活かして「健康」を発信する情報豊かなまちをめざします。

基本方針

生活基盤の整ったまち

市街地や田園地域、丘陵地など、それぞれの環境と調和した生活基盤をバランスよく整備し、安全かつ便利で快適な生活環境づくりを進めていきます。

自然や歴史を活かすまち

四季折々の自然と、古墳や高取城跡をはじめとする歴史環境を保全するとともに、これらを活かした観光・レクリエーション活動の環境づくりや、ふるさと高取の美しい風景づくりを進めていきます。

個性ある産業のまち

自然と共生を図りながら育まれてきた農林業や「薬」などの製造業、歴史ある駅前周辺の商業環境などを守り育てながら、就業の場の確保や経済基盤の安定化を進めていきます。

あたたかい福祉のまち

すべての住民が健康で、人権を尊重し、お互いにたすけあうとともに、必要な時にいつでもどこでも気軽に福祉サービスが受けられるような、安心して暮らせる環境づくりを進めていきます。

豊かな心を育むまち

住民の誰もが生涯を通じて教育と文化に接し、また多様な交流活動を行うことができ、その中で豊かな心を育て、創造的なくらしができる環境づくりを進めていきます。

住民とともにつくるまち

住民が自ら考え行動できるよう、ひらかれた行政を推進するとともに、広域的な連携を図りながら、総合計画に掲げられた施策の着実かつ円滑な実施を進めていきます。